正解の誘惑

正解、正しい解と書いて正解。には魅力があります。非の打ち所がないし、もし、たとえ批判されても崩れないだけの芯の強さがある、それが正解というものです。つまり、安心感があります。この安心感が正解の魅力です。人はその魅力に執着させられることがあります。もし、正解でない状態、そういう不安定な状態に立たされると人は不安に感じて怖くなります。人は常に正解を求める生き物なのです。もし、この世界が数式で表わせたならそれで何も問題はなかったでしょう。しかし、現実には正解がいくつもあったり、見方によって変わったり、そもそも存在しない。ことがあります。

そんな人生の中でも、正解にたどり着こうと努力することは大切だと思います。思い悩む中で見つけるものや、正解とまではいかなくても、その途中の考え方、見方を知ることは大切だからです。でもその結果、もしある一つの正解にたどり着いてしまった時には、その正解に執着してはなりません。それでは成長することができないからです。「科学と人間生活」の授業の中で、岡崎先生から、「生きているものはみんな代謝をしている」というお話を聞きました。代謝というのは、変化し続けることです。必要なものを取り入れて、かみ砕いて自分の栄養とし、いらないものをなくしていく。ということです。岡崎先生の言葉を広く解釈すれば、生きている精神というものは代謝をしているということになります。人間は歳を重ね、人生経験を積み重ねると、失敗の怖さというものを知り、安定の大切さを知ります。自分で自分を守るために、自分がそのときに持っているその正解を振りかざし、押し通そうとまでしてしまいます。精神的代謝が悪くなっていて、自分の持つ正解を変化させることができなくなっているからです。だから、自分の持つ正解を否定されることが、自分自身を否定されたかのように感じでしまうのです。

今、私たちは高校生という、子供から大人への変化の時期にあります。この段階で、変わり続けることをやめてしまってはならないと思います。今の私たちにはまだ無限の可能性があると思うからです。確かに、変化をするということには失敗の可能性が付きまといます。うまくいかないかもしれない。それはとても怖いことです。本当にその先に正解があるかすらわからない。だけど、その怖さも、不安も、全部抱えたまま変わっていく必要があるのではないかと思います。時に痛いかもしれない、時に苦しいかもしれない。でも、それが学びで成長だと思います。人間は成長することをやめた瞬間から退化し始めます。人として生き続けるために前に進み続けなければならないと思います。

なんて偉そうにこうやって話している私も、愛農にきて早二か月。ようやく慣れてきて安定していきました。つまり、私の愛農での姿、というものが一つの正解にたどり着いたということです。実際、浦部灯という人間はこういう人だ、というイメージが固まってきたと思います。一方で、この正解にたどり着いてしまったともいえると思います。私はどんな環境でも比較的すぐに順応することができます。自分の行動を客観的に見ることや、周りの状況を理解することが得意だからです。しかし、だからこそ簡単な正解の選択肢を選んでしまいがちになります。実際、私はある一つの正解からなかなか抜け出せていません。それは、あまり悩まないということです。私はほとんど、とても深い悩みをすることがありません。もし少しの疑問や悲しみがあっても一回ひとしきり考えてみて、堂々巡りになったり、どうしようもない、と思ったりしたら悩むことをあきらめてしまいます。これ自体は人生を生きていくうえで一つの正解だと思います。そしてこの正解のメリットは、ストレスがない、ということです。私は愛農に来てから一度も夜眠れなかったことがありません。誰かの行動や言動で少しいやだと思ったとしても、その相手は自分ではないのだから考えても仕方がない。と思って、まぁいいか、で済ませてしまうことが多いためです。ある意味ポジティブであるといえるでしょう。しかし一方、デメリットは、考えるのをやめてしまうから、自分がどんな考えなのか、自分の感情は、と考えられなくなってしまうことです。今回のクラス意見発表でも、みんなの意見を聞いて、共感し、何かが言いたいはずなのに、ちゃんと出てきません。それは、普段自分の考えを持っているようでいて実は持てていないからではないかとおもいました。それは、大切な問題からも逃げ続けてきたからだと思います。実際、人間関係において、少し気の合わない人と正面からぶつかったりすることはまだできていません。朝拝や夕会を聞いていると、様々な課題に悩み、立ち向かっている姿をよく見ます。私にはそれがとても格好良く見えます。だから私はこの、とても楽な選択、楽な正解からしっかりと悩めるような正解を探していきたいと思っています。どうすればいいのか、そんなことはわかりませんが、この先に成長がある予感がするからです。ここで示せたのはあくまでも一例ですが、私にはほかにもたくさん今ある正解に甘んじているものがあります。そのすべてを変化させることは難しいかもしれませんが、それが私の成長につながると思います。私はこれからの三年間、ちゃんと考えて、ちゃんと悩んで、ちゃんと疲れながら、今ある正解にとどまる、その誘惑に負けず前に進んでいきたいと思います。 以上です。